

はんさん

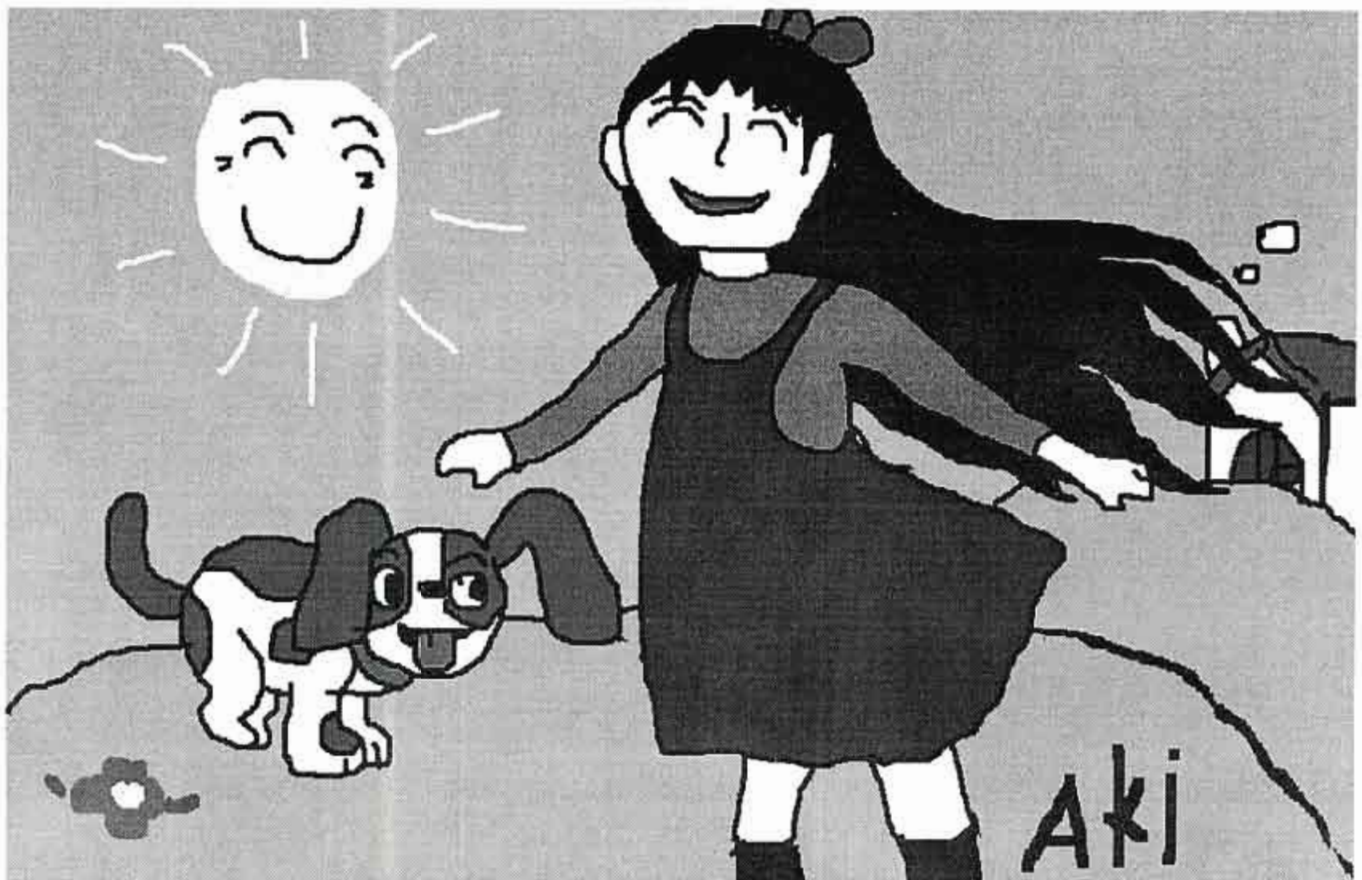
Vol. 10

2006

March

平成18年3月15日

【はんさん】は【Hot And New South Akita Npo】の頭文字から名付けた造語。【県南のNPOを情報でつなく】という思いをこめました。



『はるですねー。』

イラストレーション：小野崎 晶

もくじ

- 【特集】 雪との暮らしにボランティアの輪を！…… 2
- 県外ナンバーです…… 3
- ボランティア・活動交流広場…… 4
- コラム 県南弁ゼミナール…… 4
- 応援します。…… 5
- イベント情報、助成金情報…… 5～7
- ボランティア・カレンダー、編集後記…… 8

特集

雪との暮らしにボランティアの輪を！



横手除雪ボランティアの会
代表 小野 宏一さん

昨年末から降った雪は休むことなく、大雪による事故も相次いで発生した。特に高齢者の事故が圧倒的に多く、中には一人暮らしのため発見されたのが死後数日経ってからといった事件も記憶に新しい。そんな中、地域の高齢者を雪から守ろうと四年前、市民有志によって発足した『横手除雪ボランティアの会』代表の小野宏一さんにお話をうかがった。



横手清陵学院高校バドミントン部と除雪ボランティア活動

数年前、横手市社会福祉協議会福祉委員地区会長を務めていた犬塚春恒さん（元横手市除雪ボランティアグループ代表）が、旧横手市に住むお年寄りにやってもらいたいことについてアンケートを行なった。結果、一位は話し相手、二位は除雪作業、三位は病院への付き添いという順位だった。話し相手がほしければ、自分からそういった場へ出向いて行くことも可能であるだろうし、病院付き添いであればサービスタクとして行っている。が、除雪に関しては雪国でありながら、今までボランティアというかたちでは存在しなかった。一昔前までは家族で、または隣り近所で協力し合いながらやってこれたのが、少子高齢化社会とともに高齢者世帯も増え、近所付き合いも希薄になったことなどから除雪の必要性が増していった。こういったお年寄りの声を基に平成十三年十一月「横手市除雪ボランティアグループ」を発足、翌年には小野さんもメンバーに加わり、本格的にスター



愛宕ライオンズクラブと除雪ボランティア活動

トした。その後、横手市の市町村合併とともに名称も『横手除雪ボランティアの会』となった。

『横手除雪ボランティアの会』の活動は、高齢者や身体障害者に対して生活道路の除雪作業を行う。現在会員は六〇名、その中には横手清陵学院高校バドミントン部の生徒三八名もいる。また愛宕ライオンズクラブとも協力し合いながら作業を行っている。「ボランティアに高校生やライオンズクラブの方々に入ってもらおうことにより、波及効果につながっていけば……」と小野さん。例年であ

“車座会議”報告

大仙市では、17年12月20日(火)、18年1月18日(水) 車座会議が開催されました。

参加者は地域自治組織・NPO・行政からです。第4回目は課題解決ワークショップ「自分たちにできること」について具体的に提案を出していき、それを踏まえて第5回目では、政策提案ワークショップ「提案されたテーマに対し、行政と協働で実現する手順を探る」シミュレーションを行いました。この会に参加したことによって、お互いの活動内容を良く知り、地域にはたくさんの素晴らしい人材を含めた財産があることに気づき、それぞれの地域における役割と考え方、その特性を理解することが出来ました。第5回で車座会議は終了しましたが、参加者からは「コミュニケーションの大切さに気づいた」「課題の解決には各分野の連携が必要である」との意見が出され、今後のネットワークづくりに向けて行動していくことが確認されました。

*昨年10月から、大仙市と湯沢市で開催されてきた車座会議は第5回をもって終了しました。この会議を通してNPOが地域に認知され、活動の輪が広がっていくことを期待しております。



雪国に住んでいると、雪に対してどうしてもマイナスイメージで捉えてしまう傾向がある。「雪がふらなければいいところなのに……」「雪が降らないところがうらやましい……」といった言葉をよく耳にする。確かに雪は手間がかかり、仕事をすると喜んでは負担になる。子ども時代は雪が降るとどうも違うらしい。その大人になれば厄介になってしまふ雪とどうつきあうか、小野さんは除雪ボランティアをすることにより、雪と自分との関係を保っていつているように感じる。「人間は自分が誰かの役に立っていると思うと元気になる

もの。除雪をした家の人に喜んでもらえるのが何よりも嬉しい。そして、冬は自分を頼りにしてくれている人がいるということ、健康管理にも気をつけるようになった。これもボランティアをしてきたおかげ」と言う。「これからは年々増え続ける利用者に対処していくためにも会員を増やしていきたい。元気なお年寄りたちにもボランティアに加わっていただき、ますます元気で生きがいを持ってもらえたら、自殺率全国一位といった秋田県のマイナスイメージも打破できるのではないだろうか」と小野さんは語ってくれた。

横手除雪ボランティアの会

代表 小野 宏一

横手市赤坂字大道添9817 (事務局)

TEL & FAX 0182 (33) 7618

県外ナンバー です

県外NPOから学ぶ活動のヒント



東灘地域助け合いネットワーク

理事長：村山レイ子
神戸市東灘区御影本町6-15-17
TEL：078-843-4029
<http://homepage3.nifty.com/kobetasukeai/>

一九九五年、阪神淡路大震災の復興を目的に設立。被災地

が落ち着きを取り戻しかけた一九九九年、市場の空き店舗に拠点を置き、「高齢者にやさしい市場」を目指し、ミニデイと移送サービスを開始。二〇〇一年、NPO法人を取得。二〇〇三年、介護保険制度の枠外として在宅支援を開始し、高齢者の細やかなニーズに 대응しています。さらに「ゼロ歳から百歳までの居場所」を目指し英会話、パソコン、囲碁、書道などの各種カルチャー教室と視覚障害者向音声パソコン、環境保全活動、リサイクルショップなど様々な活動を展開しています。二〇〇五年、指定管理者制度に応募し、駅前の駐輪場の管理を受託。不法駐輪対策、清掃キャンペーンなども実施中。二〇〇六年度は大学と連携して障害児の学習教室、青少年の健全育成事業を手掛ける予定で、行政や企業にできないことでNPOの役割はいくらでもあります。今後も地域住民が自立し、安心して暮らしていける地域を目指し、地域の活性化と福祉の向上に努めていきます。

ボランティア活動交流広場

本紙に寄せられた各団体の紹介と会員コーナーです。
活動に興味を持たれた方、参加したい方は、各団体に直接お問い合わせください。

託児ボランティアひまわり

TEL 0183-73-6739

湯沢

平成8年、湯沢市主催の託児サポーター養成講座を受講した有志で翌年設立されたのが、『託児ボランティアひまわり』です。現在会員は16名、全員子育ての経験者です。活動内容は、在日外国人のための日本語教室や、お母さんたちのサークル事業、講座等での託児です。

また、年に数回情報交換会や学習会等を行い、お互いに学びあっています。子育て中のお母さんたちが少しでも社会参加できるように、これからもお手伝いができればと思っています。

代表 高橋邦子



ボランティアふきのとう

TEL 018-895-2103

大仙

「ボランティアふきのとう」は平成11年4月、協和図書館の開館と共に、幼児期から絵本に親しみ親子で絵本を楽しんで頂きたいと、会員8名で発足しました。毎月お話会（絵本の読み聞かせや紙芝居など）を行っております。読み聞かせだけでなく、ほかに何かと思っていた矢先、県主催の読み聞かせサポーター研修に参加する機会に恵まれ、大型紙芝居やパネルシアターを制作し、各小学校を会場に幅広い活動ができるようになりました。今後も内容の充実につとめ、活気ある活動ができるよう心がけたいと思っています。

代表 進藤榮子



つら



県南弁ゼミナール

⑩「てぼけ」の巻

叔母達に「伊世ちゃんなば手ぼけでな」とよく言われた。本人もそれに反発することもなく大きくなった。「てぼけ」は「手惚け」と書き、手の働きがおぼつかないさま、つまり不器用な人のこと。昭和十年生まれの我々の世代は、全て自家製でしかも廃物利用、自分で作るか、作ってもらうか、そんな環境の中、手ぼけの私も人形の着物、足袋、セーター、お手玉など苦労して作った。昨年だったか、小三の男孫のTシャツの袖口、左利き故左の傷みがひどく、それまた手先と知恵を必要とした。手ぼけが遺伝しないよう祈りながら、針や筆を持つ時、その日の心身の状態で微妙な違いがあることを近頃感じている。

- 左袖 修繕し終えて 指運動
- 孫用の おむつを縫いし 手ぼけの手

(湯沢市在住「会報シルバーゆざわ」編集委員 佐藤伊世子)

～みなさんの御意見を お聞かせください～

地域づくり基本指針(仮称)
検討会議からのお知らせ

地域づくり基本指針(仮称)の策定に向けて協議を重ねてきた検討会議が、原案を作成しました。地域づくりにおける地域活動団体(地縁型団体とNPO)と行政の関係、そして、県と地域活動団体がお互いが協力して取り組む場合の基本姿勢などを盛り込んでいます。現在、検討会議では多くのみなさんの想いを反映させた内容とするため、作成した原案に対するご意見を広く募集しております。(詳しくは、地域活動支援室のHP【<http://www.pref.akita.jp/shishin/shishin3.htm>】をご覧ください。)

みなさんからいただいた御意見は、その趣旨をどのように生かすことができるのか再度検討会議において協議を行い、最終案を作成いたします。日頃の活動で感じられていることを含め、多数の御意見が寄せられることを期待しております。

なお原案の送付を希望する団体の方は、地域活動支援室(電話:018-860-1519 担当:柿崎)まで御連絡ください。

応援
します!

県南のNPO
ボランティア活動



社会福祉法人
湯沢市社会福祉協議会
地域福祉課
課長補佐 赤平 一夫さん
TEL 0183-73-8696
FAX 0183-73-3558

湯沢市社協が市内・外のボランティアさんの協
力により運営している「やすんでたんせ」コーナ
ーのカウンターに、少々腰の曲がった老人が腰掛け
ポケットから五十円を取り出し、「コーヒー一杯
くれ」と言っただけのボランティアさんに注文
する。そのコーヒーで楽しい会話の一時が生まれ
ます。この事業が開始される前に、湯沢市にこ
のような高齢者の文化があったらどうか?

カウンターのなかで対応するボランティアさんは
一日ごとに変わりますが、そこがこのコーナーの
長所でもあります。その理由は、病院へのバス待
ち利用者も多いのですが、毎日利用する常連客も
多く、カウンター内の日替わりボランティアさん
との会話がみなさん何より楽しいのです。

五年目になるこの事業を振り返り、シャッター
通りと言われる商店街において、これほど地域に
定着するとは立ち上げに関わった私自身驚いてい
ます。地域で暮らす人々が気軽に休めてゆつくり
とくつろげる場、また、ボランティアとして地域
福祉に参加することで自分の生きがいを見出すこ
とが出来るこの事業こそ、まさに介護予防事業な
のではないのでしょうか。

今、市内大型店「ビックフレック」の中にも各
種障害者団体やボランティア団体が対応する湯沢
市社協の二号店「きつきこ」がオープンし少しず
つではあります。店舗利用者の無料休憩所や各種
福祉相談コーナーとしての利用も増えてきました。
今後ボランティア・各種団体と協力して新た
な取り組み等、楽しい企画を考えながら湯沢市に
新しい風を吹かせて続けて行きたいと思えます。

イベント情報

◆あきたの環境を考える集い

演題「地球環境を救う新しいライフスタイ
ルへ」

日 時：三月十八日(土) 午後一時三〇～四時

場 所：秋田市市民文化会館(小ホール)

講 師：北野大さん(淑徳大学教授)

参加費：無料

主 催：秋田県県民生活環境文化部 環境あきた
創造課

問合せ：秋田県 環境あきた創造課

TEL 018-8660-1574

FAX 018-8660-3881

◆第5回秋田市学習ボランティアセミナー

～ボランティアの連携と情報の活用～

日 時：三月二十日(月) 午後一時三〇～

場 所：サンバル秋田 研究室

講 師：野中 和郎氏(元能代市教育長)

参加費：無料

主 催：秋田市学習ボランティアネット

秋田市教育委員会

問合せ：TEL 018-8666-2245

FAX 018-8666-2252

◆野鳥の巣箱づくりとカンジキウオーク

春を待つ野鳥たちのために巣箱を作り、森の木
にとりつけます。カンジキウオークも体験します。

日 時：三月二十一日(火) 午前九時三〇～

三時三〇

場 所：保呂羽山少年自然の家

(横手市大森町八沢木字大木屋73)

対 象：小学生と保護者 25名

(子供だけでも参加できます)

主 催：ほろつとキッズ

申込み：ほろつとキッズ 高橋大成

TEL 0182-22-4511

FAX 0182-22-4517

◆春休み親子エコクッキング

お父さん、お母さんと一緒に親子で料理をつ
くって楽しみましょう!

日 時：三月二日(水)

午前十時～ 自然食料理教室

午後一時三〇分～

食養講座 or ジャンポ風船遊び

場 所：サンチェリー湯沢

参加費：大人2300円、中学生以下1000円

幼児300円

主 催：えがおの会

申込み：えがおの会(鈴木佳子)

TEL 0183-62-5291

◆第9回人にやさしいまちづくりinあきた

～はじまりは私から いまこそ行動ネットワーク～

日 時：三月二十五日(土) 午後三時

場 所：秋田拠点センターアルヴェ

講 師：上野千鶴子氏

主 催：NPO法人あきたバリアフリーネット

ワーク、あきたウエルフェア研究会

秋田県福祉介護機器技術研究

問合せ：NPO法人あきたバリアフリーネットワーク

TEL&FAX 018-836-0063

お寄せください、紙面はあなたの情報がたよります

活動広場・イベント情報掲載記事を募集しています！
情報誌(はんさん)にあなたの団体を紹介してみませんか？

「県南のボランティアイベント情報」のコーナー

◎イベントタイトル◎開催日時◎会場◎問合せ先◎申し込み先・場所・電話・FAX◎内容など100字程度でチラシがあれば一緒にお送りください。
(次号は5月20日以降の情報となります)

「ボランティア活動交流広場」(会員募集)のコーナー

◎会の名前◎代表者氏名とお問合せ先の電話・FAX番号・e-mail◎活動内容等370字程度(写真ありの場合200字程度)でお送りください。
各コーナーの情報は毎月25日までお送り下さい。原則的に翌月の発行分に掲載させていただきますが、紙面に限りがございますので掲載されない場合はご容赦ください。また皆様のご意見、ご感想もいただければ幸いです。

〒013-0046 横手市神明町1-9
南部市民活動サポートセンター
「はんさん」編集部
TEL:0182-33-7002
FAX:0182-33-7038
e-mail:ssc7002@luck.ocn.ne.jp

◆親子で楽しむ春の名作アニメーション映画会(らんま1/2、11ぴきのねこ、はれびと、はれびと)

日時：三月二十六日(日) 九時三〇分

場所：横手市かまくら館ホール

料金：前売り七〇〇円、当日一〇〇〇円(両方以上)

主催：横手おやこ劇場

問合せ：横手おやこ劇場

TEL 0182-33-0812

(火、金十時～二時)

◆第19回横手凧揚げ大会

日時：四月九日(日) 午前九時三〇分

十一時三〇分

場所：グリーンスタジアムよこて駐車場

問合せ：横手凧の会 木島

TEL 0182-32-0706

秋田県市民活動情報ネット

<http://www.akita-kenmin.jp/npo/index2.asp>

秋田県のボランティアや市民活動などに関する情報や話題をネットで皆さんのもとへお届けしています。登録していただくと、団体のプロフィールや目的、事業などをネット上で紹介することができます。ご希望の方には各地区のボランティア・NPO活動ニュースをお送りします。また、県北、中央、県南の各ボランティア・NPO活動ニュースのダウンロードもできます。

平成19年1月31日の間に実施する活動が対象です。

趣旨：河川・海岸等の水辺空間に関して、市民の方々の関心を高め、「川に学ぶ」社会の実現を促進するため、市民団体等が河川・海岸等の水辺で行う自然体験や環境教育等の活動等に対し、その費用を助成するものです。

申請方法：所定の申請書を郵送

助成金：1活動あたり10万円を限度とし、申請は1団体1活動のみとします。

募集期間：4月21日まで

問い合わせ先：財団法人 リバーフロント整備センター 「川に学ぶ」活動助成事業事務局 担当：研究第一部 山木 〒102-0082 東京都千代田区一番町8番地 一番町F Sビル
TEL:03-3265-7121 FAX:03-3265-7456
E-mail:yamaki@rfc.or.jp

関連URL：<http://www.rfc.or.jp/>

◎藤本倫子環境保全活動助成基金(第2回)

対象：日本国内における自発的で、継続的な環境教育や地域における環境保全などの活動(業として行う活動は除きます)で、次のような形態の活動です。

①実践活動(観察会、リサイクル、植栽・環境修復等)

・会員以外の一般市民の協力、参加が得られ、効果が十分期待できること。

②普及啓発活動(環境講座・教室の開催、パンフレットの作成、広報誌の作成、教育教材の作成等)

・啓発効果が十分期待でき、広報資料・図書等の配布方法等が適切であること。

③調査活動(野生生物の調査、水質等の調査・分析、環境情報の収集・提供等)

・学生、生徒や一般市民の参加が得られ、啓発に資する内容であること。
(専門家・会員のみで一般市民等の参

加が少ない活動は除きます)

趣旨：この基金は、環境教育や地域の環境保全活動などを積極的に実践する団体または個人を対象に、活動資金の一部を助成することを通じて、活動の輪が拡大し、継続していくことを目的として設けたものです。

申請方法：所定の申請書に必要書類を添付して郵送

助成金：1活動(同一年度内1申請者1活動に限り)あたりの助成金額は、30万円を上限とします。(当該活動に関連して参加費を徴収する場合は、活動費総額から参加費を差し引いた額が助成対象です)

募集期間：5月15日まで

問い合わせ先：財団法人 日本環境協会 〒106-0041 東京都港区麻布台1-11-9 プライム神谷町ビル2F

TEL:03-5114-1251 FAX:03-5114-1250

E-mail:jea@japan.email.ne.jp

関連URL：<http://www.jeas.or.jp>

助成金情報

◎リユースパソコン寄付・支援プログラム

対象:公益性をもつ活動(ボランティア活動等)を行い、かつ、予算などの諸事情により情報化が遅れている団体
趣旨:非営利団体の情報化支援
申請方法:当WEBかFAX、郵送でエントリー後、所定の申請書に必要書類を添付して送付
助成内容:1回の公募で約40台のPCを寄贈予定。(1団体につき上限10台)
募集期間:毎回偶数月(2月、4月、6月、8月、10月、12月)10日締め切り
問い合わせ先:特定非営利活動法人 eparts 〒154-0024 東京都世田谷区三軒茶屋1-17-4 メゾンクロニア307 TEL:FAX:03-5481-7369
関連URL:<http://www.eparts-jp.org/act/publicoffer/index.html>

◎平成18年度「まちづくり人」応援助成金

対象:①新しいまちづくり活動を提唱する人々を応援します。②まちの中心に元気を取り戻すまちづくり活動をする人々を応援します。③世代間交流を活発にするまちづくり活動をする人々を応援します。④高齢者が元気になるまちづくり活動をする人々を応援します。⑤子育てに役立つまちづくり活動をする人々を応援します。⑥まちづくり活動をする子供や若者を応援します。

趣旨:まちづくり市民財団は、「市民がまちづくりを行いやすい環境づくり」と、「それに取り組む人たちの応援」をする財団です。まちづくりに情熱を燃やし、それぞれの地域で想いを形にしていこうという人々を応援します。「応援してほしいことは何か?」「応援られることは何か?」そのことを考えながら助成事業を展開してまいります。これまでの「事業に対する助成」という考えから、「人や組織や運営に対する助成」、「複数年の助成や資金以外の応援」などをとおして、「日本に新しいまちづくりの風」をおこします。

申請方法:所定の申請書に必要書類を添付して送付。
助成金:【助成金】本年の助成金の総額は600万円です。1件50万円限度とし、10件程度選出します。(複数年連続で助成する場合もあります。【その他の応援】その他助成金以外に応援してほしい事柄の中から、応援されるものについて応援します。
募集期間:3月31日まで
問い合わせ先:財団法人 まちづくり市民財団 事務局 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-14-3 日本青年会議所内 TEL:03-3234-2607 FAX:03-3234-5770 E-mail:machizkr@interlink.or.jp
関連URL:<http://home.interlink.or.jp/machizkr/>

◎平成18年度「障がい者福祉助成金」一般助成

対象:【対象事業】●障がい者施設の改善、整備、備品等の購入 ●各種会議、講演、研修事業 ●各種出版、啓発活動等 ●各種調査、研究事業 ●

文化事業、スポーツ活動等
趣旨:助成財団は、心身に障害のある人々の「自立」と「社会参加」を支援することを目的に1993年に設立されました。国民の暮らしと共にあるヤマト運輸は、国民のさらなる幸せと豊かさを求めます。障害のある人々に対する支援もその一環です。心身に障害のある大学生への奨学金の提供、障がい者施設などにおける備品購入、施設改善資金の助成など、多岐にわたり支援しています。

申請方法:所定の申請書を送付
助成金:一件当たり上限額100万円。(A)全国の各都道府県にくまなく助成できるように心がけています。(B)障がい者の自立と社会参加、生産性アップに直結する事業を優先します。

●例えば無認可の共同作業所にはまだまだ男女のトイレが一緒だったり、夏でもクーラーが無い所があります。雨漏りの改修費用、作業所の増築、自動ドア工事費、水洗トイレの設置など、物品購入では販売促進や効率アップのための貨物車、除雪車、トラクター、野菜栽培のビニールハウス、漬物事業の冷蔵庫、自動コンナ、肥料混合機の購入等に今まで積極的に助成を行って来ました。

募集期間:3月31日まで
問い合わせ先:財団法人 ヤマト福祉財団 〒104-0061 東京都中央区銀座2-12-15 TEL:03-3248-0691 FAX:03-3542-5165 E-mail:y.zaidan@yamatofukushizaidan.or.jp
関連URL:<http://www.yamato-fukushi.jp/works/subsidy/>

◎平成18年度「街なか再生NPO等助成金」公募

対象:【対象団体】主にまちづくりに関心を持ち、活動・運動・事業を行っている次のいずれかの法人。①法人格を取得しているNPO ②法人格を取得している中間法人 ③面整備の準備組合 【対象地域】市町村の中心として役割を果たしている「街なか」を対象とします 【対象分野】次の項目で、街なか再生に寄与すると考えられる事業を対象とします。①まちの資源、(歴史的建造物、産業遺産)を活用する取り組み ②まち特有の文化、伝統を活用する取り組み ③まちの新たな魅力、可能性を探る取り組み ④まちの環境・景観を向上する取り組み ⑤まちを活性化するためのまちの維持管理運営に係る取り組み ⑥街なかの土地区画整理事業等の面整備を推進する取り組み

趣旨:中心市街地など街なかにおいて様々な課題に取り組まれている地域のNPOなどの皆様を、(財団)画整理促進機構(街なか再生全国支援センター)が資金面で助成することで、自発的に問題解決に取り組む市民参加型の活動・事業を支援し、街なか再生に寄与することを目的としています。

申請方法:所定の申請書に必要書類を添付して送付
助成金:本年度の助成総額は200万円以内とし、1事業の助成限度額は50万

円以内とします。
募集期間:3月31日まで
問い合わせ先:財団法人 区画整理促進機構(街なか再生全国支援センター) 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-3-11 花菱平河町ビル3階 TEL:03-3230-8477 FAX:03-3230-4514 E-mail:mail@sokusin.or.jp
関連URL:<http://www.sokusin.or.jp/machinaka/index.html>

◎2006年全労済環境活動助成

対象:【対象団体】日本国内を主たる活動の場とする全労済協力団体・組合員グループ、NPO法人、任意団体等(NGO、ボランティア団体等)【対象活動】①自然環境の保全に関する活動 ②生活の中で環境負荷を減らす活動 ③環境に配慮したまちづくりに関する活動 ④その他本助成プログラムの趣旨に沿うと判断される活動 【対象期間】2006年8月1日～2007年7月31日に実施する活動

趣旨:全労済では社会貢献活動の一環として、1992年より環境問題に取り組む団体を対象に助成活動を行っています。本年も「自然との共生」をテーマに「2006年全労済環境活動助成」を実施し、広く全国から応募団体を募集します。このプログラムでは「自然との共生」を目指し、地域で助け合って活動する市民団体等を支援します。そして活動の輪が広がることにより、地域コミュニティの形成や再生につながることを期待します。

申請方法:所定の申請書に必要書類を添付して郵送
助成金:「活動助成」「特別助成」のいずれかに応募いただけます。なお、助成総額は3000万円(上限)を予定しています。①活動助成・1団体に対する助成上限額30万円 ②特別助成・1団体に対する助成上限額100万円
募集期間:4月21日まで
問い合わせ先:全労済、特定非営利活動法人 地球と未来の環境基金 〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-5 新須田町共同ビル2階 担当:古瀬、佐々木 TEL:03-5298-6644 FAX:03-5298-6635 E-mail:grant@eco-future.net
関連URL:<http://www.zenrosai.or.jp/zenrosai/topics/2006/060301.php>

◎平成18年度「川に学ぶ」活動助成

対象:市民団体、学校等の非営利団体による公益的な活動で、次に該当するものに対し、助成を行います。①河川・海岸等の水辺や、水辺に関わる地域をフィールドとして行う自然体験や環境教育等の活動 ②河川・海岸等に関係するセミナーやスクールの実施、情報の提供、川を活かしたまちづくり(『かわまちづくり』)に資する検討・啓蒙等の諸活動など等の活動(対象活動例:・水生生物の観察会・総合的な河川体験講座・川の安全教育・水辺の整備プラン作成・水辺の散策マップ作成・配布・河川の歴史、文化の勉強会など)。なお河川清掃のみを目的とした活動等は対象となりません。原則として、平成18年4月22日～

ボランティア・カレンダー

平成18年3月15日～4月15日

| | | | | |
|---------|--|--------|---|-------------------------------|
| 3/15(水) | | 4/1(土) | 求む! 団体情報 南部市民活動サポートセンターでは、今、団体情報ファイルを整備しています。皆さんの団体をPRするため、そして、他の団体のことを知りネットワークを広げるために是非、この団体情報ファイルをご活用下さい。 皆さんの団体のパンフレットやイベントチラシなどを、まだサポセンへお持ちになっていないければ、このファイルに綴じて利用者の方々に見ていただきますので、センターまでお届けください。 | |
| 16(木) | | 2(日) | | |
| 17(金) | | 3(月) | | |
| 18(土) | あきたの環境を考える集い(13:30～秋田市民文化会館) | 4(火) | | |
| 19(日) | 自然を愛する皆さんの集い(13:00～煉瓦屋) | 5(水) | | |
| 20(月) | フラワーアレンジメント(10:00～男女共同参画センター) | 6(木) | | |
| 21(火) | 野鳥の巣箱づくりとカンジキウォーク(9:30～保呂羽山少年自然の家) 気功(19:00～男女共同参画センター) | 7(金) | | |
| 22(水) | 春休み親子エコクッキング(10:00～サンチェリー湯沢) | 8(土) | | |
| 23(木) | | 9(日) | | 第19回横手風揚げ大会(9:30～グリンスタジアムよこて) |
| 24(金) | | 10(月) | | |
| 25(土) | 人にやさしいまちづくりinあきた(15:00～秋田市アルヴェ) | 11(火) | | |
| 26(日) | 親と子で楽しむ春の名作アニメーション映画会(9:30～横手市かまくら館) | 12(水) | | |
| 27(月) | フラダンス健康講座(19:00～男女共同参画センター) | 13(木) | | |
| 28(火) | 気功(19:00～男女共同参画センター) | 14(金) | | |
| 29(水) | | 15(土) | | |
| 30(木) | | | | |
| 31(金) | | | ※イベント情報は掲載後日程が変更になる場合もあります。 | |

編集後記

スキー場の山からもらってきた「まんさく」の小枝3本。3日目に黄色の四弁の花が開きました。春を告げる花としてしみじみと眺めました。「はんさん」も今年度最後の号を無事発行できました。これも皆様のご協力のお蔭と感謝します。新年度からもよろしくお願い致します。

(A・P)

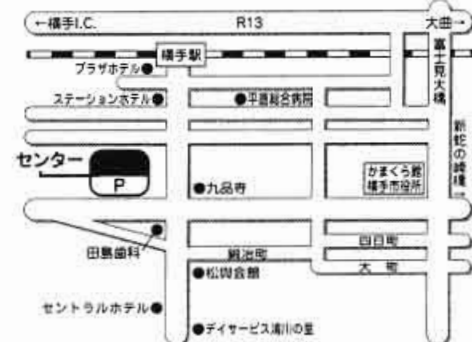
ボランティア・NPOニュース 県南版3月号
 平成18年3月15日発行
 発行：秋田県生活環境文化部地域活動支援室
 〒010-8570 秋田市山王四丁目1-2
 TEL：018-860-1520
 編集：NPO法人秋田県南NPOセンター
 〒013-0046 横手市神明町1-9
 (南部市民活動サポートセンター)
 TEL：0182-33-7002 FAX：0182-33-7038

「この印刷物は1500部作成し、印刷経費は1部あたり21円です。」

南部市民活動サポートセンター

どなたでもお気軽にお立ち寄りください。

相談時間 午前9時～午後6時(月～水・金曜日)
 午前9時～午後5時(土曜・祝日)
 木曜日は休館日
 TEL. 0182-33-7002 FAX. 0182-33-7038
 E-mail: ssc7002@luck.ocn.ne.jp



当センターは秋田県から委託を受けて、特定非営利活動法人秋田県南NPOセンターが運営しております。